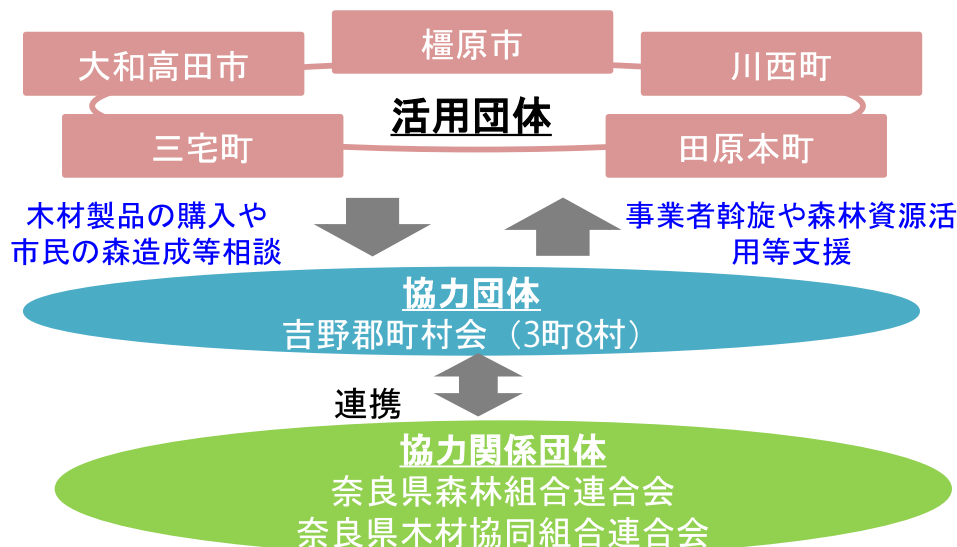


【奈良県内「上下流連携による木材利用等促進コンソーシアム」】

＜自治体間連携の枠組みづくり＞

- 奈良県では、サプライチェーン上の川下に当たる平野部2市3町（活用団体）と、川上に当たる吉野郡3町8村（協力団体）、2関連組合連合会（協力関係団体）が連携し、令和3年5月に「上下流連携による木材利用等促進コンソーシアム」を設立。
- 同枠組みを通じて、木材製品の購入や森林体験活動の実施等における連携を図ることで、森林環境譲与税を活用した木材利用等を促進。

【役員】 会長：橿原市長
副会長：田原本町長（事務局）
監事：大和高田市長



コンソーシアムをきっかけとした連携の創出

たわらもとちょう かわかみむら
～田原本町・川上村～

- コンソーシアムに参画する田原本町と川上村は、令和4年2月に「森林整備等の実施に関する連携協定」を締結。
- 同協定は、田原本町が川上村所有の森林を整備及びその森林を活用した付帯事業を実施することに関して相互に連携・協力することを定めており、二酸化炭素の排出量を森林整備による吸収量で相殺する「カーボンオフセット」を具体化。
- また、田原本町民が現地を訪れて森林環境に関する理解を深めることや、川上村が間伐材を加工した木製品を提供することが盛り込まれている。

◇ 基礎データ



＜協定締結式の様子＞

	田原本町	川上村
①令和3年度譲与額	2,531千円	64,410千円
②私有林人工林面積	0ha	15,981ha
③林野率	0%	95.0%
④人口	31,177人	1,156人
⑤林業就業者数	0人	59人